

広  
報

# HA 葉山 YAMA A

11 No.572  
月号



## 今月の目次 (表紙：子育て支援センターぽけっとで遊ぶ子ども)

葉山で子育て	…… 2	教育委員会だより	…… 14
はやまNEWS	…… 8	ごあんない	…… 16
子育てひろば	…… 10	創意くふう展	…… 21
健康情報	…… 12	町長コラム	…… 23

# 特集 葉山で子育て

子育てしやすい町、葉山だからこそできる「地域全体で子どもを育てること」を考えてみましょう。



鎌倉女子大学短期大学部  
初等教育学科 准教授

ほうかわ  
寶川 雅子 さん

(葉山町子ども・子育て会議会長)

海や山など豊かな自然がある葉山町には、子育て世帯が多く移り住んでいきます。そんな子育てしやすい町にも、子育ての悩み、子育てにまつわる地域の課題があります。

全国的に相談対応件数が増加している「児童虐待」の背景には、子育て世帯が社会から孤立していることが原因の一つとされています。

「少子化や核家族化、地域交流の希薄化など、現代の子育てにまつわる社会の形は大きく変容しています」と寶川さん。

しかし、地域での子育ては、みんなにとってメリットがあるものです。子どもは多くの愛情を受け、他者との関わりから社会性を学びます。親は、子育ての負担やストレスが軽減され、余裕を持って子どもに向き合えます。そして地域は、子どもから刺激を受け、元気になるのです。

11月は、児童虐待防止推進月間です。子育て世帯が社会から孤立しないよう、地域全体で子育てをするのを考えてみましょう。





## 完璧なお母さん？

子育ての専門家である  
寶川さんにも悩みはあった  
と言います。

「予定日より1か月少し  
早い出産を経験し、心の準  
備もできていない状態で、  
周りの人から『お母さん』

と言われることにすら違和  
感を抱きました。『本当は  
まだお腹の中にいる時期な  
のに、なんでもう子育てが  
始まっているんだろう』、

『なんで私は授乳しないと  
いけないんだろう』と思う  
こともありました。私が保  
育士だと知った人からは  
『じゃあ、大丈夫ですね』と  
言われ、まるで突き放され  
たように感じたこともあり  
ました。ささいな言葉にも  
傷つく、自分を責めてしま  
うのが初めての子育てだと  
思います。」

しかし、この経験で得た  
ものがあつたそう。  
「悲しいことを乗り越えた

からこそ、今のお母さんた  
ちに言えることがありま  
す。完璧な人なんていない  
ように、完璧なお母さんは  
いません。自分を責めない  
てください。」

## 子育てを応援！

お母さんの「安心」を作  
り出せるのは、地域の力だ  
です。手助けをするのではな  
く、日頃のあいさつや声か  
け、あたたかいまなざしだ  
けでも十分です。

「子どもに対して『〇〇が  
できてえらいね』と褒める  
ように、親にも『いつも子  
育て頑張っていて素敵です  
ね』と褒めて良いんです。  
その言葉で救われる人がい  
ます。」と寶川さん。

また、子どもは地域の人  
と関わることで、視野を広  
げることが出来ます。子育  
てを応援できる町の雰囲気  
こそが、「子育てしやすい  
町」の姿なのかもしれませ  
ん。

## 泣くのは信頼の証？

子どもは、泣いたらすぐに駆けつけてくれる優しいお母さんの愛情をわかっているから泣くのです。だからお母さんも、愛情と信頼を持って子どもに接してみましょう。困っているお母さんより、安心していらっしゃるお母さんの方が子どもも嬉しくなりますよ。



## 地域の取組み

# 葉桜ほっとサロン



葉桜自治会の福祉活動「葉桜ほっとサロン」では、スタッフに子どもを預け、そのそばでお母さん同士がお茶や会話を楽しめます。



サロン担当者 工藤智美さん

子育て中のお母さんが「ほっと」と一息つける居場所として作られたサロン。「予約不要で無料、利用時間も自由なので、地域の皆さんに気兼ねなく利用していただけたら」と話すのは、サロン担当者の工藤さん。初めは利用者として参加していたそう。

「使っているお母さんは地域の人から寄附されたもので、サロン全体がアットホームな雰囲気です。また、子どもがケガをしないようにフロアマットを敷いたり、おむつ交換の場所を設けたりなど、安心して遊ばせられる環境を用意しています。」と話してくれました。





### 葉山を選んで良かった!

子育ての場所として葉山を選び、転入して2週間で初めてのサロン参加です。自治会加入時に案内を受け、1歳の子どもを連れて来ました。初めての子育てでわからないことだらけだし、引っ越してきたばかりで心細かったのですが、皆さんあたたかい人ばかりで参加して良かったです! 子育て経験のあるスタッフの方が多く、安心して子どもを見てもらえるし、子どもへの接し方なども色々とお教わりしたいと思います。これからもたくさん来たいです♪

(かんじくんとお母さん)

年齢の違う子たちが仲良く遊べるよ!



### 情報交換にも◎

スタッフと遊ぶ子どもを見ながら、お母さんたちは情報交換! お茶をしながら「予防接種はどこでした?」や「食料品はどのスーパーで買うと良い?」など、同じ地域ならではの情報交換をしていました。

### みんな楽しんで

「自分の子どもは小中学生になったので、小さな子と遊ぶのは楽しくて懐かしいです!」と話す担当者の工藤さん。特に赤ちゃんのかわいらしい仕草には、スタッフ全員あたたかい気持ちになると言います。



### 児童館「遊びの広場」も活用を!

各児童館や青少年会館では、0~3歳の乳幼児と保護者が楽しく遊べる「遊びの広場」の時間を用意しています。詳しくは町HP「児童館・青少年会館」をご覧ください。  
※遊びの広場がある時間以外は、年齢に関係なく自由に来館することができます



# お悩み相談室

子育て支援センター「子育ての悩み」をお聞きしました。

子育て支援センター「子育ての悩み」をお聞きしました。

怒りずには注意するには  
どうしたらいい？

注意すると、内容よりも「怒られたこと」しか頭に入らないので困っています。

【回答】

伝わりやすい3ステップ  
①たかさんの「楽しい」、「嬉しい」を体験しながら②「危ない」など最小限の必要なことを短くわかりやすく伝え③すぐにできなくても気長に待ってみましょう。



かやちゃん・かのちゃんとお母さん



幼稚園や学校で、  
友達ができるか心配です。

【回答】

人見知りは成長の証。親が先回りして心配するのではなく、「大丈夫！」と信じて待つことで、「親に認められた自分なら誰でも大丈夫」という自信につながるはず。

自分の体調が悪いとき  
預かってくれる人がいない！

両親が近くにいないので、  
預けられる人がいません。

【回答】

ぼけつとでも緊急の預かり  
に対応します。ファミリー・  
サポート・センターもあるの  
で、事前に登録しているとよ  
りスムーズです。まずはご相談  
ください♪



人見知りをして親から離れない。  
どうしたらみんなと遊べる？

かいとくん・しょうとくん  
とお母さん



怒っても、褒めても、  
泣いてもダメ。効果的な伝え  
方が知りたいです。

【回答】

逆転の発想で、「言うことを聞かせよう」としない」というのはどうでしょうか？興味を持つことをできる限りさせてあげましょう。子どもは満たされてやる気が出ると、お母さんの言うことに耳を傾けるものです。

言いつくせ

言いつくせを聞いてくれない！



## 葉山町 子ども育成課から



### 私たちがいます

子育ての悩みは、それぞれ違います。「こんな小さな悩み、相談しているの?」、「恥ずかしいから誰にも知られたくない」ということも、私たち子ども育成課(☎876-1111)までお気軽にご相談ください。匿名でも相談することができます。

また、月2回「ぴよぴよ相談」という母子の保健相談を保健センターや児童館で実施しています。保健師と直接お話しできるので、気軽にご利用ください(詳しくは11ページ)。

### 覚えてほしい「189」

「子育てが辛くて子どもにあたってしまう」、「子育てに悩んでいる人がいる」、「あれ、もしかして虐待?」と思ったら、児童相談所全国共通ダイヤル「189(いちはやく)」までお電話ください。最寄りの児童相談所につながり、専門家がお話を聞きます(匿名での相談も可能)。

日頃から子育て世帯へのあいさつ、声かけなどの交流を通じ、あたたかく子育てしやすい葉山町を一緒に目指しましょう!



そうすけくんとお母さん

夜泣きはいつまで? どうしたら寝てくれる?

夜泣きが原因で睡眠不足が続き、イライラしてしまう。いつ終わるのでしよう?

【回答】

辛いですよ。寝かせようと昼間に遊ばせすぎたり、夜間の授乳が頻繁になったりすると、眠りは浅くなるので逆効果です。卒乳の頃にはだんだんなくなっていきます。

成長が遅いかも? 他の子と違って不安...

まだ歩かない、言葉が遅いなどの不安はどこに相談したら良いですか?

【回答】

町のぴよぴよ相談や健診、子ども育成課やぽけっとにご相談ください。成長に一喜一憂する緊張感は、子どもにも伝わるもの。大きな悩みになる前に、親が不安になりすぎないことも大切です。



私が回答しました

### ぽけっとはこんなところ

葉山町子育て支援センターぽけっと(一色1493-1)は、遊びのひろばのほか、子育てに関する疑問や悩み、心配事などをうかがいます。ゆっくり話ができる部屋もありますし、電話での相談も受け付けます。

問合せ ☎876-4152

休館日 日曜日・月曜日・祝祭日



ぽけっとセンター長

上野 祐子さん